

# 平成29年度予算の進み具合

## ■一般会計

歳入名	予算額	収入額	執行率
市 税	38億7,565万円	24億8,046万円	64.0%
地方交付税	71億5,746万円	44億7,261万円	62.5%
国庫支出金	86億5,101万円	7億7,689万円	9.0%
県支出金	24億3,679万円	2億1,044万円	8.6%
市 債	48億9,930万円	0万円	0.0%
その他	56億6,126万円	46億580万円	81.4%
合計	326億8,147万円	125億4,620万円	38.4%

歳出名	予算額	支出額	執行率
総務費	39億5,678万円	9億6,921万円	24.5%
民生費	62億829万円	29億1,575万円	47.0%
農林水産業費	14億9,472万円	3億185万円	20.2%
土木費	43億5,347万円	5億9,053万円	13.6%
教育費	15億9,894万円	7億2,683万円	45.5%
災害復旧費	69億7,405万円	15億9,529万円	22.9%
公債費	29億1,964万円	14億4,400万円	49.5%
その他	51億7,558万円	17億897万円	33.0%
合計	326億8,147万円	102億5,243万円	31.4%

## ■特別会計

会計名	予算額	支出額	執行率
土地取得事業	20万円	0万円	0.0%
国保(事業勘定)	52億4,908万円	23億5,786万円	44.9%
国保(直診勘定)	2億649万円	7,453万円	36.1%
後期高齢者医療	3億1,517万円	6,823万円	21.6%
魚市場事業	1,723万円	900万円	52.2%
漁業集落排水事業	3億1,729万円	1億2,125万円	38.2%
公共下水道事業	15億6,720万円	4億6,535万円	29.7%
合計	76億7,266万円	30億9,622万円	40.4%

## ■公営企業会計・水道事業会計

区分	予算額	支出額	執行率
収益的支出	10億4,949万円	1億6,684万円	15.9%
資本的支出	18億2,375万円	3億2,274万円	17.7%

## 用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

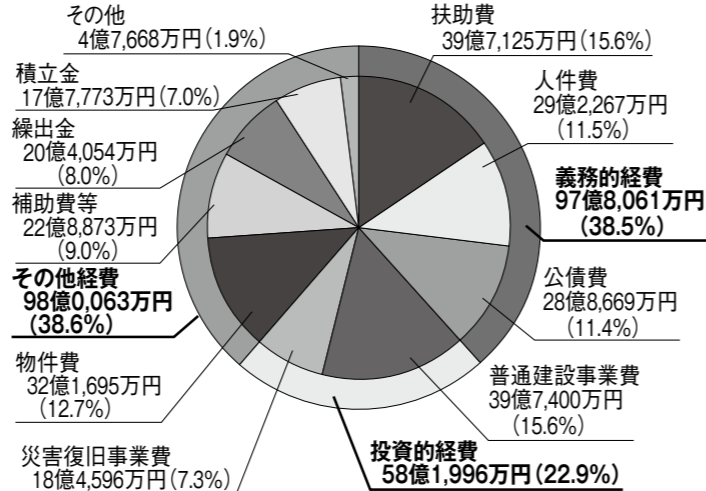
### 【収入の関係】

▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税、消費税などがもともになっています

### 【支出の関係】

- ▶民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶総務費…市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶公債費…市の借金返済などに使うお金
- ▶土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
- ▶教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶災害復旧費…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金
- ▶衛生費…環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
- ▶消防費…消防や災害対策などのために使うお金
- ▶商工費…商工業や観光を促進するために使うお金
- ▶義務的経費…支出が義務付けられているお金
- ▶投資的経費…道路や漁港、建物などを整備するために使ったお金

## ■性質別歳出



## ■特別会計

会計名	収入額	支出額
土地取得事業	2,044万円	2,044万円
国保(事業勘定)	47億3,804万円	48億9,463万円
国保(直診勘定)	1億7,114万円	1億7,114万円
後期高齢者医療	3億814万円	3億761万円
介護サービス事業	—	—
魚市場事業	1,468万円	1,468万円
漁業集落排水事業	2億8,054万円	2億7,795万円
公共下水道事業	13億5,964万円	13億4,236万円
合計	68億9,262万円	70億2,881万円

## ■公営企業会計 水道事業会計

区分	収入額	支出額
収益的収支	8億2,384万円	8億4,678万円
資本的収支	5億8,737万円	8億4,778万円

独立採算制を原則とした「公営企業会計」があります。市の特別会計には、国民健康保険や公共下水道などがあります。収入の合計は68億9,262万円、支出の合計は70億2,881万円。国民健康保険の給付を行うための事業勘定が赤字になりました。公営企業会計に該当するのは、水道事業会計です。皆さんから納めていただく水道料金を主な収入として、水道施設を維持管理するための収益的収支は、収入が8億4,678万円、支出が8億4,778万円でした。

## ■財政の健全化が必要です！

■**実質公債費比率 13.9%** (県内の市平均12.1%・久慈市27年度14.2%)  
これは、毎年続けて入ってくる収入のうち、何%が借金返済に使われたかを示すもので、過去3年間の平均値です。この数値が25%を超えると、お金の借入れが制限されます。

■**経常収支比率 92.4%** (県内の市平均91.2%・久慈市27年度91.9%)  
これは、市が毎年固定的に支払う人件費などの経費を、市税や地方交付税など毎年続けて入ってくる財源で割った数値です。この数値が80%を超えると財政は苦しいといわれています。

37億4,814万円

黒字

## 一般会計歳出

254億120万円

民生費	67億3,939万円 (26.5%)
総務費	46億5,116万円 (18.3%)
公債費	28億8,670万円 (11.4%)
土木費	24億2,593万円 (9.6%)
農林水産業費	17億5,829万円 (6.9%)
教育費	17億4,495万円 (6.9%)
災害復旧費	17億1,157万円 (6.7%)
衛生費	12億0,024万円 (4.7%)
消防費	10億2,864万円 (4.0%)
商工費	9億4,100万円 (3.7%)
議会費	2億1,682万円 (0.9%)
その他	9,651万円 (0.4%)

## 一般会計歳入

291億4,934万円

市税	43億9,233万円 (15.1%)
繰入金	24億9,199万円 (8.5%)
繰越金	17億9,393万円 (6.2%)
諸収入	9億1,794万円 (3.1%)
その他	6億6,804万円 (2.3%)
地方交付税	85億5,484万円 (29.3%)
国庫支出金	51億4,969万円 (17.7%)
県支出金	26億4,687万円 (9.1%)
市債	16億6,800万円 (5.7%)
地方消費税交付金	6億0,429万円 (2.1%)
地方譲与税	2億0,871万円 (0.7%)
その他	5,271万円 (0.2%)

自主財源 35.2%

依存財源 64.8%

# 平成28年度 決算

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金などで成り立っています。平成28年度も貴重なお金を有効に使えるよう、やり繰りしました。今回は市議会9月定例会で認定された平成28年度の決算のあらましをお知らせします。  
※金額は1万円未満を四捨五入しています



### 自主財源は約35%

「一般会計」は福祉や教育、土木など市の基本的な仕事のための会計です。平成28年度の一般会計決算は、歳入(収入)が29億1,493万4千円、歳出(支出)が25億4,814万円で、台風10号被害対応の収入が前もって交付され、37億4,814万円と例年に比べ多額の黒字になりました。

歳入で最も多いのは、国から配分された地方交付税の85億5,484万円。財源別に見ても、地方交付税などの依存財源が64.8%を占め、財源の大半を国や県からのお金に頼っている状況です。これに対して、市税などの自主財源は35.2%。自主財源が多いほど市政運営の自主

### 台風10号復旧を第一に

歳出では、台風10号からの復旧事業に伴い、総務費が前年度に比べて特に増えました。台風10号からの復旧をはじめとする主要な事業に重点的に財源を充てながら、事業の見直しと経費の節約を図り、貴重な財源を全体でやり繰りしました。

### 特別会計の状況

市の会計には一般会計のほか、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」と、事業で得られる収入で経費をまかなう